安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	BCP Albumin Assay Kit, QuantiChrom (250 assays)
コンポーネント名	Reagent
商品コード	BAS社　商品コード:DIAP-250
供給者の会社名称	フナコシ株式会社
住所	東京都文京区本郷2－9－7
担当部門	コンプライアンス管理部
電話番号	03－5684－5107
FAX番号	03－5802－5218
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬
整理番号	OTH0317V03 （2023/10/26）

2. 危険有害性の要約(以下、SDSは単一物質としての評価に基づき作成)

化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(麻酔作用)
環境有害性	水生環境有害性　短期(急性) 区分1 水生環境有害性　長期(慢性) 区分1 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語	警告
危険有害性情報	H302　飲み込むと有害 H336　眠気又はめまいのおそれ H410　長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策	粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261) 取扱い後は眼や手をよく洗うこと。(P264) この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。(P271) 環境への放出を避けること。(P273)
応急措置	飲み込んだ場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312) 吸入した場合、気分が悪いときは医師に連絡すること。(P304+P312) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 口をすすぐこと。(P330) 漏出物を回収すること。(P391)
保管	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233) 施錠して保管すること。(P405)
廃棄	内容物や容器を、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。(P501)

他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	ポリ(オキシエチレン)＝ドデシル＝エーテル
CAS番号	9002-92-0
濃度又は濃度範囲	**0.1-1%**
化学式	(C2H4O)nC12H26O

化審法官報公示番号	(7)-97
安衛法官報公示番号	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし

以下、該当する単一成分のSDSを記載する。

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	直ちに医師に連絡すること。 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	データなし
応急措置をする者の保護	データなし
医師に対する特別な注意事項	データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤。
使ってはならない消火剤	データなし
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 低地から離れ、風上に留まる。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	危険でなければ漏れを止める。漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
二次災害の防止策	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所へ流してはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 眼や皮膚との接触、飲み込まないこと。 蒸気、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく眼と手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	換気の良い場所で、容器を密閉して保管すること。

	施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	消防法で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度(産衛学会)	未設定
許容濃度(ACGIH)	未設定
設備対策	取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	適切な保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体(C11EO、酸化エチレン(EO)の付加モル数不明)
色	無色～黄色(C11EO、酸化エチレン(EO)の付加モル数不明)
臭い	データなし
融点／凝固点	16℃(C12EO3)、26℃(C12EO6)、25℃(C14EO3)、35℃(C14EO6)、32℃(C16EO3)、37℃(C16EO6)、42℃(C18EO3)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	182℃(C12EO4)、186℃(C12EO5)、230℃(C12EO6)、283℃(C12EO9)、183℃(C14EO4)、193℃(C16EO4)、214℃(C18EO4)
可燃性	データなし
爆発下限界及び上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	> 10000mg/L(C12EO40)
n-オクタノール／水分配係数(log値)	log Pow = 3.45(C10EO8)、4.53(C12EO8)、5.61(C14EO8)、5.91(C14EO14)、5.01(C14EO14)
蒸気圧	< 0.1mmHg(< 13.3Pa)(20℃)(組成不明)
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	データなし
危険有害反応可能性	加熱や燃焼により分解し、刺激性の煙やヒュームを生じる。
避けるべき条件	加熱や燃焼。
混触危険物質	データなし
使用、保管、加熱の結果生じる危険有害な分解生成物	刺激性の煙やヒューム。
その他	

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	【分類根拠】 (1)～(3)より、区分4とした。 【根拠データ】 (1)ラット(雌)のLD50(OECD TG 423、GLP):300～2,000mg/kgの間(REACH登録情報 Acc.May(2021)) (2)ラットのLD50 = 1,190mg/kg(REACH登録情報 Acc.May(2021)) (3)ラットのLD50 = 1,000mg/kg(REACH登録情報 Acc.May(2021))

経皮	【分類根拠】 (1)、(2)より、区分に該当しない。 【根拠データ】 (1)ラットのLD50(OECD TG 402、GLP) = > 2,000mg/kg(REACH登録情報 Acc.May(2021)) (2)ラットのLD50(OECD TG 402) = > 2,000mg/kg(REACH登録情報 Acc.May(2021))
吸入	データなし
皮膚腐食性／刺激性	【分類根拠】 (1)、(2)より、区分に該当しない。 【根拠データ】 (1)ウサギ(n = 3)の皮膚刺激性試験(OECD TG 404、GLP、半閉塞、4時間適用、72時間観察)で、皮膚刺激性はみられなかった(紅斑スコア:0/0/0、浮腫スコア:0/0/0)との報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 (2)ウサギ(n = 3)の皮膚刺激性試験(OECD TG 404、閉塞、4時間適用、14日観察)で、パッチ除去24時間後に全例に軽度の紅斑がみられたが、48時間後には回復した(紅斑スコア:0.3/0.3/0.3、浮腫スコア:0/0/0)との報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 【参考データ等】 (3)In vitro 皮膚刺激性試験(OECD TG 439)で、細胞生存率R = 2.7%であったとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	【分類根拠】 (1)、(2)より、区分に該当しない。 【根拠データ】 (1)ウサギ(n = 3)の眼刺激性試験(OECD TG 405、GLP、14日観察)で、全例で7日後まで結膜影響がみられたが、14日後には回復した(角膜混濁スコア:0/0/0、虹彩炎スコア:0/0/0、結膜発赤スコア:1.7/1.7/2、結膜浮腫スコア:1/1.3/1)との報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 (2)ウサギ(n = 3)の眼刺激性試験(OECD TG 405、21日観察)で、全例で角膜混濁及び結膜影響がみられた(角膜混濁スコア:0.7/0.7/0.7、虹彩炎スコア:0/0/0、結膜発赤スコア:1/1.7/1.7、結膜浮腫スコア:1/1/1)との報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 【参考データ等】 (3)In vitro 眼刺激性試験(OECD TG 492)で、平均組織生存率は34.4%(予測不能に該当)であったとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	【分類根拠】 (1)より、区分に該当しない。 【根拠データ】 (1)51名を対象としたパッチテスト(10%、15%、20%溶液、閉塞)で、陽性反応はみられなかったとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 【参考データ等】 (2)モルモット(n = 7)のDraize試験(皮内投与:0.02%又は0.1%溶液)で、惹起後に皮膚反応はみられなかったとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 (3)ウサギ(n = 12)の皮膚感作性試験(局所投与:1%溶液)で、惹起後に皮膚反応はみられなかったとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。
生殖細胞変異原性	【分類根拠】 (1)～(5)より、区分に該当しない。 【根拠データ】 (1)マウスの骨髄細胞の小核試験(3日間腹腔内投与)で陰性の報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021)、CERI 有害性評価書(2007)、NTP CEBS Acc.May(2021))。 (2)マウス骨髄細胞の染色体異常試験(単回腹腔内投与)で陰性の報告がある(NTP CEBS Acc.May(2021))。

	(3)細菌復帰突然変異試験で、陰性の報告がある(REACH登録情報／NTP CEBS Acc.May(2021)、CERI 有害性評価書(2007))。 (4)マウスリンパ腫細胞の遺伝子突然変異試験で、陰性の報告がある(REACH登録情報／NTP CEBS Acc.May(2021)、CERI 有害性評価書(2007))。 (5)ほ乳類培養細胞(CHO)の染色体異常試験で、陰性の報告がある(REACH登録情報／NTP CEBS Acc.May(2021))。
発がん性	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。 【根拠データ】 (1)本物質(Etoxylated dodecyl alcohol)のラットとマウスの2年間混餌投与による発がん性試験で、雌雄とも陰性との報告がある(Haseman et al.,Environ.Health Perspect.,74(1987)、CERI 有害性評価書(2007))。 (2)(1)の結果はNTPのTesting Report(TR-264)に基づくものであるが、試験報告としては不十分なものとして、当該TRはNTPのDB上からは既に削除されている(NTP DB Acc.May(2021))。
生殖毒性	【分類根拠】 (1)～(5)より、区分に該当しない。 【根拠データ】 (1)ラットの混餌投与及び経皮投与による2つの二世代生殖毒性試験で、生殖毒性はみられなかったとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 (2)ラットの混餌投与による、本物質(C12、EO6)の二世代生殖毒性試験で、生殖毒性はみられなかったとの報告がある(NITE/CERI有害性評価書(2007))。 (3)ラットの混餌投与による発生毒性試験(妊娠6～15日)で、発生毒性はみられなかったとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。 (4)ラットの経口投与による、本物質(C12、EO4)の試験(交配前から交配、妊娠及び哺育期間)で、交配、妊娠、出産、哺育に異常はみられなかったとの報告がある(NITE/CERI有害性評価書(2007))。 (5)ラットとウサギの経口投与による、本物質(C12、EO4)の発生毒性試験で、催奇形性及び胎児毒性はみられなかったとの報告がある(NITE/CERI有害性評価書(2007))。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	【分類根拠】 (1)より、区分3(麻酔作用)とした。 【根拠データ】 (1)ラットの単回経口投与試験で、300mg/kg(区分1の範囲)で軽度のし眠(6/6例)、下痢や糞尿による肛門周囲の汚染がみられ、2,000mg/kg(区分2の範囲)で軽度のし眠(1/3例)、軽度から中程度のし眠(2/3例)、運動失調、呼吸異常がみられ、2例の死亡例の剖検では肛門周囲の湿潤と肺全葉の赤色化がみられたとの報告がある(REACH登録情報 Acc.May(2021))。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	【分類根拠】 (1)より、経口経路では区分に該当しない。ただし、他経路での毒性情報がなくデータ不足のため分類できない。 【根拠データ】 (1)ラットの混餌投与による28日間反復経口投与試験で、590mg/kg/day(区分に該当しない範囲)で毒性影響はみられなかったとの報告がある(CERI 有害性評価書(2007))。
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	藻類(デスモデスムス属)72時間ErC50 = 0.237mg/L(REACH登録情報(2021)、Bull.Environ.Contam.Toxicol(2006)76:218-225)であることから、区分1とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	急速分解性がなく(標準法におけるBODによる14日間分解度:38%(METI既存点検結果,1982))、藻類(デスモデスムス属)の72時間NOEC = 0.07383mg/L(Bull.Environ.Contam.Toxicol(2006)76:218-225)から、区分1とした。

生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
魚毒性／その他	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	本品を廃棄する際には、国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと。廃棄処理中に危険が及ばないよう十分注意すること。
汚染容器及び包装	関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない。
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
Marine Pollutant	Not Applicable
Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II, and the IBC code.	Not Applicable
航空規制情報	該当しない。
UN No.	
Proper Shipping Name	
Class	
Sub Risk	
Packing Group	
国内規制	
陸上規制情報	該当しない。
海上規制情報	該当しない。
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書II 及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	該当しない。
国連番号	
品名	
国連分類	
副次危険	
等級	
特別の安全対策	
緊急時応急措置指針番号	なし

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）【460 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル】 ポリ(オキシエチレン)＝ドデシル＝エーテル

アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。含有する製品は、第1種指定化学物質質量の割合が1質量%以上であって、次の各号のいずれにも該当しないもの。（施行令第5条） 1 事業者による取扱いの過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉状又は粒状にならない製品 2 第1種指定化学物質が密封された状態で取り扱われる製品 3 主として一般消費者の生活の用に供される製品 4 資源の有効な利用の促進に関する法律第2条第4項に規定する再生資源

消防法	第4類引火性液体、第三石油類水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）【5 第三石油類水溶性液体】 1気圧において、20℃で液状であって、危険物令第1条の6で定める試験において引火性を示し、引火点が70℃以上200℃未満のもの（法別表1備考15）。ただし可燃性液体量が40%以下のものを除く（危険物則第1条の3第6項）。
化審法	優先評価化学物質（法第2条第5項）【189 α－アルキル（C=12～15）－ω－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）（数平均分子量が1，000未満のものに限る。）】

16. その他の情報

参考文献	経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス 日本ケミカルデータベース ezCRIC 化学物質総合情報提供システム(CHRIP) Hazardous Substances Data Bank(HSDB) 一般財団法人 化学物質評価研究機構 有害性評価書 No.89 環境省 化学物質の環境リスク評価 第8巻
その他	◆危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。 ◆本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。 ◆表記の試験研究用試薬以外に本データシートを適用しないで下さい。 ◆輸送中、保管中、廃棄後も含めて、内容物や容器が、製品知識を有しない者の手に触れぬよう、厳重に注意して下さい。